



緑の園



6月号

ヒルトップハイツ



グリーンプラザ

デイサービスセンター

だより



第96号

令和6年6月1日発行

Defenders of The Faith/Judas Priest(1984)

## 皆さんお待ちかねの対面の面会が始まりました。

令和6年も暦は6月となり一年の半分が過ぎようとしています。

もう6月と思うか、まだ6月かと思うか人によってさまざまと思いますが個人的にはなぜか「まだ…派」です。



先月は、ヒルトップハイツ、緑の園、グリーンプラザの各施設におきまして、やっと対面の面会が始まりました。

会えなかった時間が長かった分、皆さん心から対面でお会いできることを本当に喜んでおられることをそばでみていて強く感じました。

現在のところ、まだ制約されていることも多くて自由に面会はできませんが少しずつでも制約がなくなるよう取り組んでまいりますので、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

なお、面会に来られる方々へのお願いではありますが、面会の際には**基本的な感染防止対策として手洗ひまたは手指の消毒、マスクの着用はもちろんのこと**



「三つの密」(①密閉空間-換気の悪い密閉空間②密集場所-多くの人々が密集している、③密接場面-互いに手を伸ばしたら手が届く距離での会話や発生が行われること。)の回避等今まで通りの感染対策のうえご面会いただきますようお願い申し上げます。(でも、本当に面会できるようになってよかったです。)



## 先月の出来事を紹介いたします。



いよいよ風薫る季節となり活動的な5月を迎えヒルトップハイツ、デイサービス、緑の園そしてグリーンプラザそれぞれの施設でちょっとしたバスレクを行いました。

デイサービスでは太陽の丘公園の芝桜を観賞してまいりました。

また、5月は母の日でもあることから、プレゼントや記念撮影を行っております。

今月も藤の花の鑑賞会や父の日関連の催しを企画しております。





## 今月の行事を紹介いたします。



丸瀬布の6月といえば「藤の花」と、いうことで天気を見ながらではありますが、それぞれの施設で藤の花を觀賞しにバ

スレクを計画しております。

緑の園/グリーンプラザでは12日(水)午前10時から丸瀬布保育所園児さんが来園されお遊戯とお歌をご披露いただく予定となっております。

同じく5日(水)の18時45分から緑の園/グリーンプラザ地域交流室におきまして職員研修を旭川医科大学 社会医学講座 名誉教授 吉田貴彦様より「福祉施設に勤務する職員のストレス対処方法について」をご講義いただく予定となっております。

 今月もどうぞよろしく  
お願いします。



以前、会議で話した内容を紹介いたします。

ある職業(職場)における離職の原因の1位は、「人間

関係・チームワーク」だったそうです。(以下、「給与・待遇」、「業務量」と続きます。)

この数字は介護業務に関するものではなかったのですが、介護業界でも同じような理由で残念ながら離職されてしまう方がとても多いです。

一般的には会社にとっての人間関係とは「仲良きことは美しきことかな」が一番、あたたかな会話や思いやり、善意のやさしさに満ち溢れていることを善いと思われるかもしれませんが、会社が倒産してしまえばよい人間関係とはいえません。

反対に会議のたびに陰悪な雰囲気にも包まれるような

関係であったとしても、結果として目標が達成されているのであれば、それはよい関係の職場だといえるのかもしれませんが。



私たち社会福祉施設は地域社会への貢献を目的として存在しています。

その地域社会への貢献を実現するために職員が意見を屈託なくぶつけ合える関係こそ「良い人間関係」なんだと思います。(言い争いも含みますよ)

目的達成のためにどのような貢献関係にあるかが人間関係を考えるうえで最も重要なことで、今提供している介護は利用者にとって最適なものであるかどうかを常に考えなければなりません。



とは、いいながらも、一所懸命介護している利用者さんから理不尽な要求や暴言を浴びせら

れることがあったりすると現場は疲弊します。

「心が折れます。」と職員から聞かされると一緒に働くものとしてとてもつらくなります。

先日見かけた介護職員の虐待に関する記事の中で職員研修(教育)が足りないという意見がありました。あくまで私見ですけどそれ、違います。

実際は、職場環境だったり利用者さんに対する認識不足がほとんどです。(絶対に研修不足ではない)

そんなマイナスイメージばかりの発信は心底いやになりますし、わかってないなと思います。

現実の介護を知らずして「研修が…」ってなによ?と、思うのは私だけかもしれませんが。

でも現場はね、ほんと一所懸命なんですから。

今月もよろしくお願いいいたします。(おばら)